

● **社会福祉法人α Version 9.110**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ ATLASシリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**社会福祉法人db (VERSION:9.110) の変更点**”を参照してください。

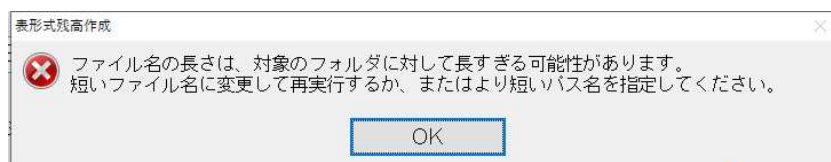
社会福祉法人 d b (VERSION:9.110) の変更点

改良

I. 表形式

1) 全般

- ①各業務において、ファイルの文字数を拡張しました。(最大 260 バイト)
ファイル名が半角で 258 文字を超えた場合は、下記メッセージを表示します。
(ドライブ名で、3 文字 (D:¥) を使用します。)



2) 表形式残高作成

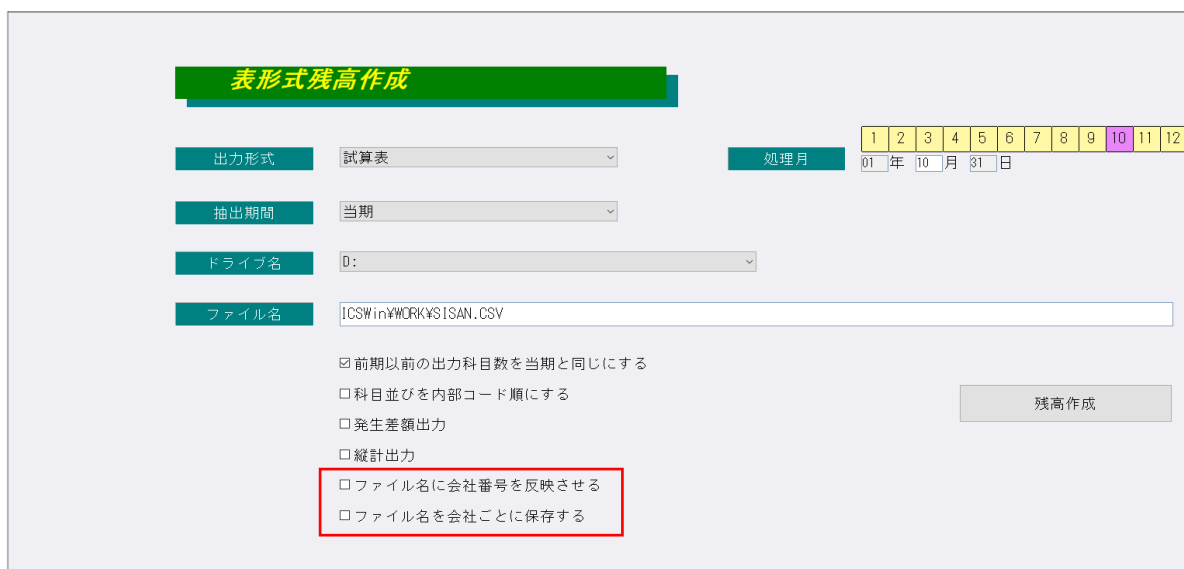
3) 表形式枝番残高作成

4) 表形式部門残高作成

5) 社会福祉表形式残高作成

6) 社会福祉表形式部門残高作成

- ①「ファイル名を会社ごとに保存する」を追加しました。
・マスターごとにファイル名を保存できるように「ファイル名を会社ごとに保存する」設定を追加しました。
「ファイル名を会社ごとに保存する」にチェックを付けた場合、会社単位でファイル名が保存されます。
また、「ファイル名を会社番号に反映させる」の設定も会社ごとに保存するようにしました。
※チェックの状態は「残高作成」を行わないと保持されません。



表形式残高作成

出力形式: 試算表

抽出期間: 当期

ドライブ名: D:

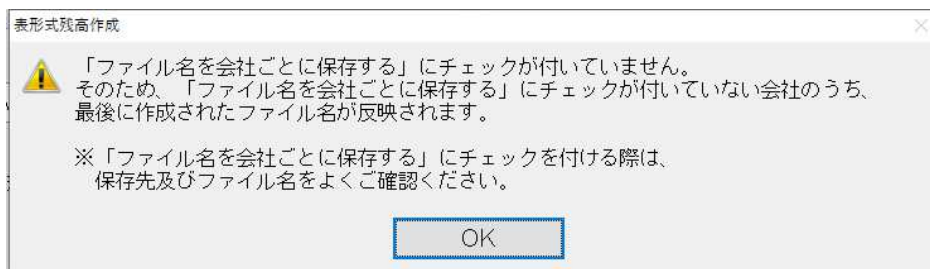
ファイル名: ICSwin¥WORK¥SISAN.CSV

処理月: 01 年 10 月 31 日

前期以前の出力科目数を当期と同じにする
 科目並びを内部コード順にする
 発生差額出力
 繰計出力
 ファイル名に会社番号を反映させる
 ファイル名を会社ごとに保存する

残高作成

※「ファイル名を会社ごとに保存する」にチェックを付けていない会社を選択した時は、下記メッセージを表示します。



ただし以下のいずれかに該当する場合は、メッセージを表示しません。

- * 「ファイル名に会社番号を反映させる」にチェックが付いている。
- * 最後に CSV 作成されたファイル名欄に表示されているファイル名が、ICS の初期のファイル名で使用している。

(保存先のフォルダは、判定に影響しません。)

例. 「1.表形式残高作成」出力形式 = 「試算表」を選択した時に、ファイル名が ICS の初期のファイル名「SISAN.CSV」と表示されている場合はメッセージを表示しません。

A screenshot of the "表形式残高作成" (Table Format Balance Sheet Creation) screen. The title bar is green with white text. The main area has a white background. At the top, there's a green bar with the title "表形式残高作成". Below it, there are several input fields: "出力形式" (Output Format) set to "試算表" (Trial Balance Sheet), "処理月" (Processing Month) set to "31年01月31日", "抽出期間" (Extraction Period) set to "当期" (Current Period), and "ドライブ名" (Drive Name) set to "D:". The "ファイル名" (File Name) field contains "アイシーエス\SISAN.CSV", with "SISAN.CSV" highlighted in red. There are "参照" (Reference) and "残高作成" (Create Balance Sheet) buttons. At the bottom, there are several checkboxes: "前期以前の出力科目数を当期と同じにする" (Set the number of output items in the current period to the same as in the previous period), "科目並びを内部コード順にする" (Set the item order to internal code order), "発生差額出力" (Output occurrence difference), "縦計出力" (Output vertical total), "ファイル名に会社番号を反映させる" (Reflect company number in file name), and "ファイル名を会社ごとに保存する" (Save file name by company).

ご注意ください。

- ・ 「ファイル名を会社ごとに保存する」のチェックは出力形式や各業務を通して共通です。
例えば、出力形式 = 試算表で保存先及びファイル名を設定して「ファイル名を会社ごとに保存する」のチェックを付けてファイル作成した後、出力形式 = 推移表などに切り替えた時や別の業務を開いた時はチェックが付いていますが、その時の保存先及びファイル名は必ずしも適切なものとは限りません。
保存先のフォルダ及びファイル名は必ずご確認ください。

7) 表形式仕訳データ取込

8) 表形式出納帳データ取込

9) 表形式振替伝票取込

- ・ 部門番号が合計部門番号の場合、仕訳の取込は行いますが、部門コードは取り込まないようにしました。

修正

I. 登録・入力

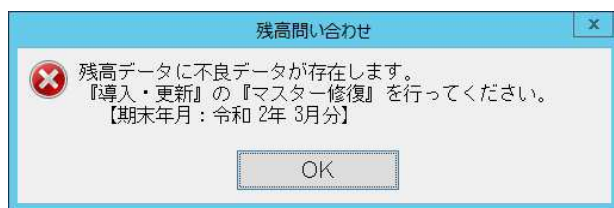
1) 仕訳入力

- ・通常入力から出納帳入力に切り替えて仕訳表示をした際に、新規入力行の仕訳の日付が、入力済みの最終仕訳の日付ではなく、月指定の最終月の日付が表示されていたのを修正しました。
- ・出納帳入力で仕訳挿入をすると、入力できない日付があったのを修正しました。
(例) 4月10日と4月15日の仕訳があり15日の上に仕訳挿入をした場合、10日から14日の日付は入力できるが、15日の日付が入力できなかった。
- ・解像度 1366×768 の場合、通常入力から振替伝票修正画面を表示させると、処理終了などのボタンが少し切れていたのを修正しました。
- ・仕訳貼り付けを行ったときに「エラーコード 0202 動作環境が不完全です。検索表示データアンダーフロー」のエラーメッセージが表示される場合があったのを修正しました。
F8 仕訳検索→複数仕訳を選択してコピー→仕訳ダブルクリックで入力画面に移行→仕訳挿入→仕訳貼り付けを複数回行うと現象が出ていました。

2) 科目設定・残高登録

① 枝番残高登録

- ・部門枝番処理を行うマスターで、枝番残高登録タブの「部門科目枝番登録」で追加登録した場合、「残高問い合わせ」業務で「残高データに不良データが存在します。『導入・更新』の『マスター修復』を行ってください。」のメッセージを表示していたのを修正しました。
※お手数をお掛けしますが、すでに現象が起きたマスターは「マスター修復」を行ってください。



II. 出力

1) 総勘定元帳

- ・簡易課税や個別対応で、「内10卸」「内軽サ」「内10課」等と表示するべきところ、「内卸」「軽サ」「内課」のように2文字で表示していたのを修正しました。

III. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ転送

- ・メール送信を行ったあとに「文字列データ又はバイナリデータが切り捨てられます。ステートメントは終了されました」と表示される場合があったのを修正しました。
上記メッセージの他に「文字列・・・付近に不適切な構文があります。」と表示される場合もありました。

以上